

258 2/59

徳積諸島の遺骨調査について。

厚生省援護局 福田康務課長は12月17日より20日まで当大使館 野田参事官、加賀、新田両書記官とともに本件につき韓国政府関係者と会談したところ、その趣概要下記のとおり御報告可る。

記。

1. 外務部金正泰重冊局長及び申東元東北亞州課長(12月18日)

当方より本件とてまゝに早く解決して  
く、調査団を早期に派遣したい旨述べたの  
に對し、<sup>先方は</sup>目下内務部及び保健社会部と  
通じて調査中であり、その結果がまとまらぬので、<sup>此</sup>  
で具體的対策をたてる<sup>ニ</sup>としたいと答  
えた。

当方より、明年暖くなつたら是非調査団  
を受け入れてほしい旨重ねて要請するととも  
に、閣僚会議の結論もあり、日韓双方の  
問題と結ぶつたことなる、<sup>先方は</sup>北人道的  
立場から促進したい旨述べた。先方  
(重冊局長)は、在日韓口人遺骨の片付かぬは  
こちらの問題と進めたいといふ方針を保持は

毛頭なく、人道的見地から進めることは  
異議はないところでも、実際問題として、  
在韓日本人遺骨の方の支えと斤の支、地  
方、在日韓国人遺骨の方は未解決のまま、残  
るといふのではやはり立場が苦しいと述  
べている。(在日韓国人遺骨及び北鮮帰還  
問題については別途御報告あり)

2. 保健社会部 崔守一 環境社王課長  
及びソウル市 金昌錫 保健中一課長(12月18日)

崔課長は、右件については外務部より  
照会があり、目下内務部調査を依頼  
しており、調査は12月30日までを終了す  
定である。調査結果は早急に外務印と通  
じてお知らせする旨述べた。

(なお、金澤長によれば、ソウル市の旧陸軍墓地(竜山陸軍墓地、心京成陸軍病院埋葬地)は、いまだ米軍のキャンプ内にあり、キャンプ内の整備過程において完全に消滅している由。)

3. 内務部地方局 李海権 行政課長 (12月19日)

本件については11月5日外務部より調査依頼を受け、在光機関を通じて調査を行っている。調査は主として村民とのインタビューによる他なく、当地の国(軍)者が死亡した例も多く、完全な調査を行っていることは困難であるが、<sup>の中間報告(12月17日)</sup>12月17日現在、徳積面、靈興面において119柱の埋葬が確認されている。12月22日

まじに調査結果をまとめ、外務部に通報  
することとなっている。

調査団派遣の問題は外務部で決める  
ことであるが、方針がきまれば、内務部とし  
ては右件は人道問題であるから、積極的に  
は協力をせよ。また、この場所は僻地  
であり、内務部の協力なしには実施は困難  
であろう。冬期は天候不順で調査困難  
であり、調査団派遣は5-6月頃が最適  
であろう。(4月はやはり風浪が多い)人数  
は3名程度が適当であろう。(地理に詳  
しい官吏、人夫等はありません。)

(注) 仁川-徳積本島間は定期的な行政  
船便があるが、島と島の間は連絡は乏し  
くて不便である。

当方より、本件は政府のハルビヤリにのり  
民間からプロパガンダがあつても政府と通じの  
よう指導して各尺の旨を以て、日本の厚生省  
は、住民の感情を刺激せず、その協力と  
得た遺骨の調査收拾と行なうこと  
の事、東南アジア全域において空襲をう  
てゐるので、その旨は十分留意して旨申入  
れらるゝ。

本信を送付する。 金山